



学校便り 「志々伎の風」

No.16

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成31年2月25日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【自制心】

大阪なおみ選手の全米オープン・全豪オープン優勝の快挙の要因として、心の成長が挙げられています。自制心の成長です。

自制心とは、自分自身の感情や欲望などをうまく抑えたりコントロールしたりする気持ちや精神力のことです。

また、昨年度、メジャーリーグ（アメリカンリーグ）最優秀新人選手賞に選出された大谷翔平選手のすごさを、現役メジャーリーグ一最高打者の呼び声が高い同僚のマイク・トラウト選手は次のように言っています。「大谷翔平が成し遂げたことをするには、**すばらしい心構えを持っていなければならない。自分に厳しくなければならない**」と、大谷翔平選手の自制心のすごさを称賛しています。

教職生活40年近くになりますが、昭和の子どもと平成の子どもを比較したとき、「自制心＝がまんする力」がもつとも落ちてきていると思います。では、どうすればいいのか？ゲームの時間を30分間と決めたら30分間で終わるなど、小さなことを積み重ねていくことで育むことができます。



【二分の一成人式・フラワーロード作戦】

今年度最後の授業参観で、3・4年生は二分の一成人式を行い、将来の夢などを発表しました。その中で、今年も更生保護女性会の方々から、すてきな言葉が書かれている葉などをいただきました。また、健全育成会主催のフラワーロード作戦が、学級懇談会の後に行われました。引き続き更生保護女性会の方々も参加していただき、約40個のプランターに



プリムラやパンジーなどの春の花を植えました。プランターは、志々伎小バス停や校舎玄関に並べています。ありがとうございました。



※ 更生保護女性会の方々は、懇談会中に行った1～5年生が、6年生を送る会で歌う「ありがとうの花」の練習にも飛び入り参加していただき、天使のような歌声を披露してくださいました。